

注 意 報

農技セ第6515号
平成28年9月2日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成28年度農作物病虫害発生予察情報について

平成28年度農作物病虫害発生予察注意報第2号を公表したので送付します。

平成28年度病虫害発生予察注意報第2号

平成28年9月2日
徳 島 県

8月第5半旬～8月第6半旬のフェロモントラップ定点調査において、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウとオオタバコガの雄成虫誘殺数が平年に比べて高く推移していることから、今後、ダイズ、野菜類と花卉類ではこれら害虫の幼虫による被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：ダイズ、野菜類、花卉類

病虫害名：ヨトウムシ類（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）、オオタバコガ

1.発生地域 県内全域

2.発生時期 9月上旬～

3.発生程度 ヨトウムシ類：多(前年より多く、平年より多い)
オオタバコガ：多(前年より多く、平年より多い)

4.注意報発令の根拠

(1)フェロモントラップ定点調査(8月第5半旬～8月第6半旬)による雄成虫誘殺数
ハスモンヨトウは、6地点平均で1,097頭と平年(7地点平均値：515頭)の2.1倍、シロイチモジヨトウは、6地点平均で858頭と平年(7地点平均値：188頭)の4.6倍、さらに、オオタバコガは、7地点平均で91頭と平年(9地点平均値：25頭)の3.6倍の発生である。

(2)高松地方气象台が9月1日に発表した1か月予報では、平年に比べ晴れの日が少なく見込まれている。気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ないと予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

5.防除法等

(1)いずれの害虫も幼虫が大きくなると薬剤が効きにくくなるので、若齢幼虫期に防除する。

(2)ヨトウムシ類は卵塊や分散前の若齢幼虫を発見したら、速やかに捕殺する。特に、ハスモンヨトウは作物の葉裏だけでなく、施設の鉄パイプなどにも産みつけるので、注意して観察する。

(3)キャベツ、ブロッコリー等のアブラナ科野菜やレタスのセル成型苗を植え付ける場

- 合には、プレバソフフロアブル5、ジュリボフロアブルとキックオフ顆粒水和剤等のセル成型トレイへの灌注処理がハスモンヨトウとオオタバコガには有効である。
- (4) 同一系統の薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。
- (5) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

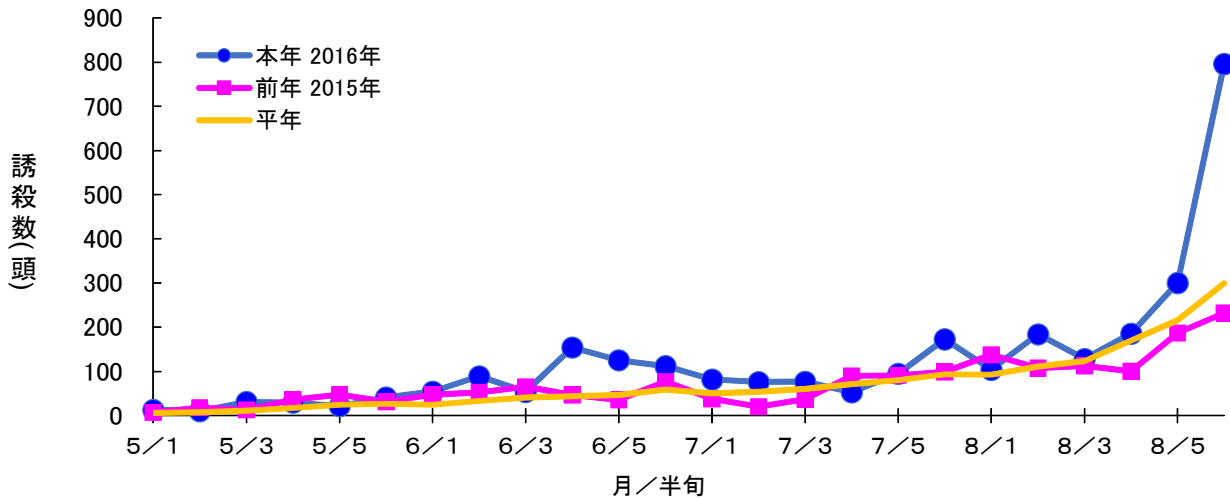


図1 ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺数推移(野菜6圃場平均)
*調査圃場: 徳島市(川内,不動),石井町,阿波市(柿原,香美),吉野川市(鴨島)

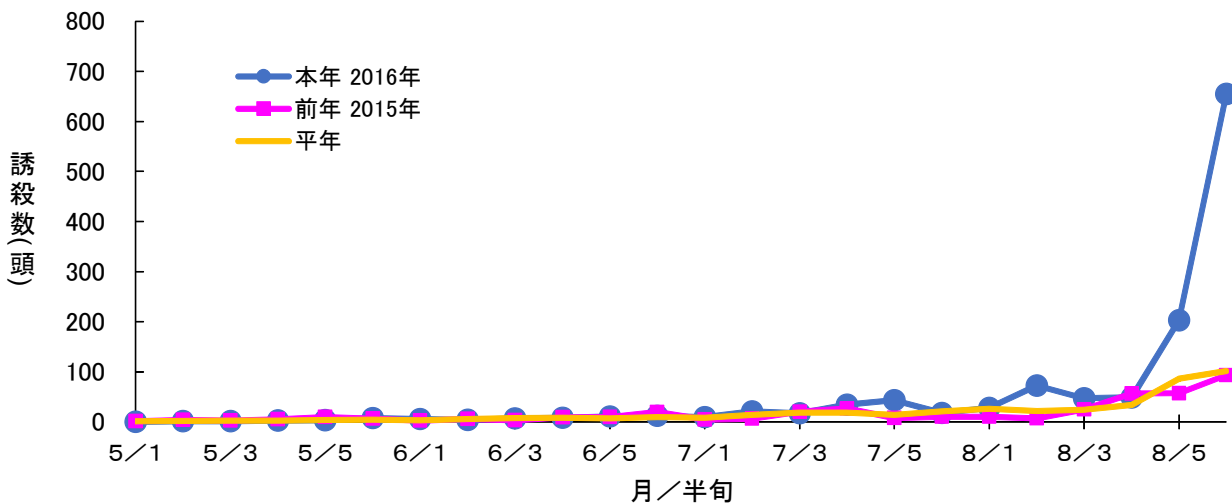


図2 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数推移(野菜6圃場平均)
*調査圃場: 徳島市(川内,不動),石井町,阿波市(柿原,香美),吉野川市(鴨島)

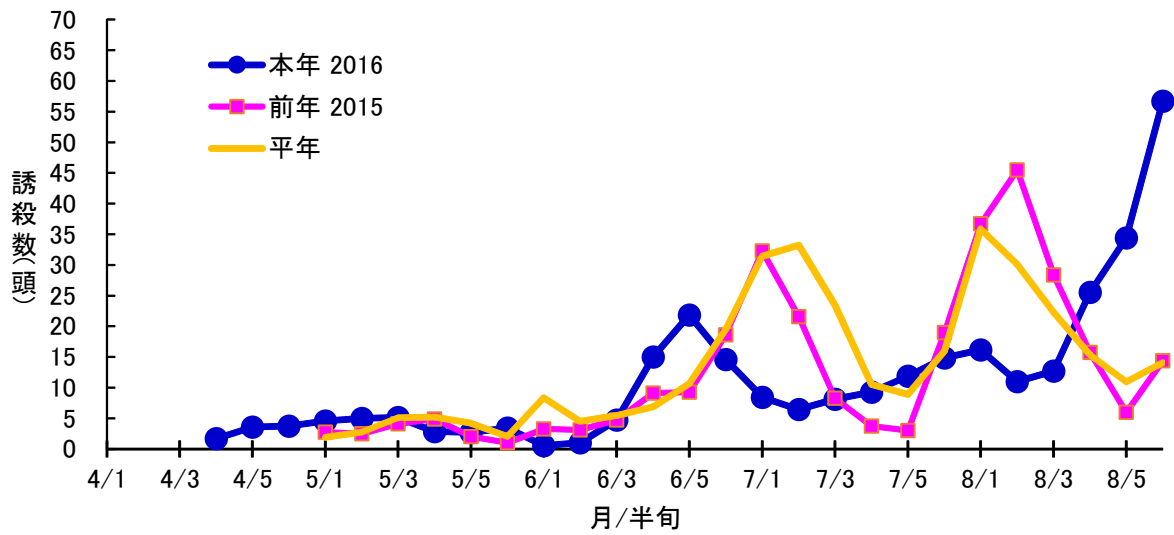


図3 オオタバコガ フェロモントラップ誘殺数推移(野菜7圃場平均)

*調査圃場: 阿波市(柿原,香美,下喜来,中原),三好市(勢力),東みよし町(昼間),石井町



ハスモンヨトウ卵塊



ハスモンヨトウのふ化幼虫



ハスモンヨトウの老齢幼虫



シロイチモジヨトウの幼虫



オオタバコガ幼虫と食害痕